

## 4階西病棟実践報告：スタッフの声を聞いてみました！

白石淳子<sup>1)</sup>

**要旨：**4階西病棟は、整形外科中心の一般病棟である。新病院へ移転して2年が経過し、職員からの意見を集計した。全館のエアコンや職員・患者搬送用専用エレベーター設置、6人部屋から4人部屋、個室の増加、部屋内洗面台や酸素・吸引配管設置、病棟内浴室やシャワー室設置、職員休憩室や職員専用トイレも近くて便利、カウンターも開放的で患者に対応し易く患者や家族も声をかけやすい、病室出入り口も広くベッドの出入りが容易、などがあがった。マンパワーは不十分で、やりたいこととできることとのギャップを感じつつも、「自分の心にも、時間にも、ゆとりを持って、丁寧に、よい看護を」と考え、自分の個性や得意分野で、看護の専門職として、向上心と責任感を持ち、笑顔と思いやりの心での看護を心がけている。「職員間のコミュニケーションを円滑にし、患者様や家族様に対しても気持ちに寄り添った丁寧な対応をする」を目標に、楽しく、働きやすい職場を目指している。

**キーワード：**他職種・他部署連携；機能別看護業務の整理；楽しく働きやすい職場

(雲南市立病院医学雑誌 2020；17(1)：印刷中)

### はじめに

4階西病棟は、整形外科を中心とした10：1看護の一般病棟です(図1)

- ・定床：56床(4人部屋…10室 個室…16室)
- ・人員配置：師長…1、副師長…2、看護師…17、看護助手…4、事務クラーク…1

### 病棟の業務

毎年、年度初め(4月)には、以下の項目を書面で提示しています。

- ◎基本理念
- ◎看護部理念
- ◎4階西病棟の特徴、役割と使命
  - 整形外科看護の役割
  - 急性期、周術期の看護
  - 慢性期、回復期の看護
  - 一般病棟が担う医療と看護の役割
- ◎病棟目標
- ◎師長として

新病院に移転して本年3月で2年が経過します。部署の皆様に、日頃の気持ちや意見を付箋に記入し



図1：整形外科中心の急性期一般病棟

1) 雲南市立病院看護部看護科

著者連絡先：白石淳子 雲南市立病院看護部看護科 [〒699-1221 雲南市大東町飯田 96-1]

E-Mail：kangobu@hotaru.yoitoko.jp

電話：0854-47-7500/ FAX：0854-47-7501

(受付日：2020年3月31日、受理日：2020年3月31日)

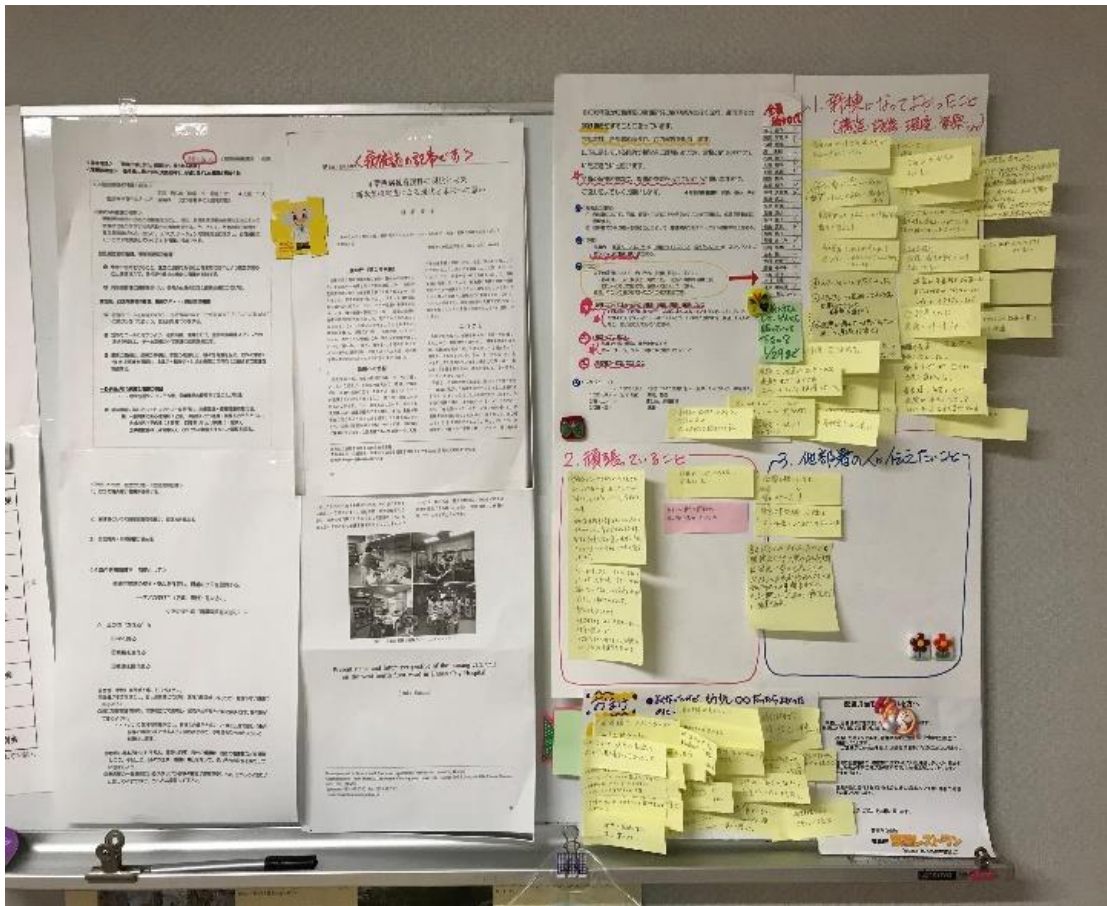


図2：部署職員の気持ちや意見

てもらいました(図2)。また、普段の会話の声も併せて、まとめてみました。

### 病棟スタッフの気持ち、意見

新棟になってよかったこと(構造、設備、環境、資源、など)

- ・エレベーターが一般用と職員用(患者搬送用)で別になっている。
- ・洗面スペースが各部屋にある。
- ・病棟内に浴室、シャワー室がある。
- ・個室にトイレがある。
- ・病棟内にトイレが6箇所ある。車いすでも使いやすい。
- ・酸素・吸引の配管が全病室にある。
- ・全館にエアコンが設置されている。
- ・コンセントが多くあり使いやすい。
- ・ベッドパンウォッシャーがあり衛生的。
- ・職員休憩室が近くにある。職員専用トイレがある。
- ・病室の出入り口が広く、ベッドでの出入りがしやすい(図3)。
- ・4人部屋(6人ではなく)になり、個室が多いことは治療や状態に応じて対応できる。
- ・スタッフルームのカウンターが広くなり、患者様や家族様が声をかけやすい(図4)。



図3：病棟入り口は下肢牽引ベッドの出入りも容易

- ・スタッフルームが開放的でよい。スタッフルーム前の病室には目が届きやすい(図4)。
- ・患者様や面会者の方から、「病院がきれいになっていいわ!」との声をよく耳にする。

### 頑張っていること・他部署の人に伝えたいこと

- ・Aチーム、Bチームとも、チームメンバーで協力しあっています。また、チームに関係なく、全体で協力体制はとれています。



図 4：広く開放的なスタッフルームカウンター

- ・忙しくても、わからないことをきいたり確認したり、パソコン操作を助けあったり、必要な時にお互いに気兼ねなく声をかけ合える関係です。
- ・洗面台やシンク周辺がとてもきれいです。スタッフ全員が、水はねしてもきちんとふき取る習慣を身につけています。
- ・ごみ箱がいっぱいになる前に交換しています。
- ・毎日の身体拘束の評価をし、また、リアルタイムでも常に評価をして対応しています。
- ・安全に入院生活を送っていただけるように、患者様一人一人に合わせた対応を実践しています。
- ・看護師と助手はお互いに協力しています。マンパワー不足での不十分なことを補い合いながら、少しでも効率よく仕事ができるように取り組んでいます。
- ・日々の役割分担を明確化し、機能別看護業務を整理するなど、業務改善に取り組んでいます。
- ・医師や他職種の方々との連携がとれています。
- ・他病棟の良い点を見習って取り入れたり、効率よくスムーズに業務ができるように、提案し、検討し、「やってみて評価しよう」と実践に移し、頑張っています。
- ・整形外科手術患者の準備、手術出し、迎えに関し、「さすが4階西！」と、手術室看護師からお褒めの声をいただいています。ありがとうございます。
- ・看護師管理の薬を個別のケースに入れて名前テープをチーム別で色分けし、棚に置くようにしました(図5、6)。結果、わかりやすくなりました。また、準備や変更時の処理がスムーズになり、効率化が図れています。安全で確実な管理ができています。

### “おまけの声”も聞いてみました

- ★新病院になってよかった！けれど、もう少し〇〇だったらもっとよかったかも。
- ★〇〇すればもっとよくなるかも。
- ★〇〇の対応をしています。……etc..
- ・個室のトイレのドアのストッパーが効くとよいと思います。車いすや松葉杖の患者様の出入りが安全



図 5：看護師管理の薬の整理、管理：変更前



図 6：看護師管理の薬の整理、管理：変更後

- にできます。
- ・エレベーターの場所を探して、1周、2周回っておられるので、付き添って案内しています。
- ・手術室、控室、展望レストラン、中央棟 リハビリ室などの行き方の案内を丁寧に行っています。
- ・パントリーが狭く、また各病棟にあるとよいと思いますが、下膳後の処理、片付けがしやすいように配置して行っています。
- ・東側の部屋(454. 455. 456. 457)が遠いので、必要なものをできるだけ準備して訪室し、効率よく対応できるように、考えて行動しています。
- ・4階から中央棟、管理棟4階に行くためには3階に降りて通路を通ります。遠く感じますが、移動時間も考慮し、時間に余裕をもって行動するようにしています。
- ・汚物処理室が狭いですが、整理整頓をし、また、わかりやすい表示をするように心がけています。
- ・点滴準備室が狭いですが、変形スペースを生かした配置を工夫し、使いやすくしています。
- ・浴室にも酸素・吸引の設備があるとよいと思います。
- ・個室シャワー室は狭いですが、安全に使用してもらえるように患者様に声をかけています。
- ・個室が狭く、急変時は特に、処置や必要物品を使いやすく配置しにくい現状です。それを承知の上で、いざその時には、素早く整理整頓し、場に応じたよりよい配置ができるようにシミュレーションしています。事例の振り返りもしています。人工呼吸器の配置にも困ることがありますが、素早く室内を整理し、できる範囲での対応を工夫しています。
- ・接遇・倫理に関する事例や、急変時の対応事例の振り返りをして、よかったことと課題を話し合っています。
- ・病室の出入り口がもう少し広いとよいと思います

が、旧棟の時より断然よい、と考へ、注意して慎重に出入りしています。

・個室料金が3種類あり、転室の際などに支障がある場合があります。特室以外は同じ料金であればベッドコントロールももう少しうまくいくともうあります。

・特室のソファは、家族様のためにも、ソファベッドがよいと思います。また、ベッドが特別で、牽引や柵が必要な時には「同じベッドだといいのにな」とつぶやきながら、、、交換して対応しています。

・モニターやセンサーコール、マットなどの物品が不足しています。Nトイレや点滴スタンドなども、古いものは少々難ありです。他部署と貸し借りをする日常ですが、各部署に揃えてあれば、もっと効率よく準備・設置でき、患者様をお待たせすることもなく、サービスの向上が図れると思います。

・スタッフルームが開放的でよいです。声が響きやすいので、意識して対処しています。

・スタッフルームが広く、日常的に使用する物品等の配置を工夫しています。効率よく仕事ができるように、また、病室への動線も考へて、回診車や機器類を配置しています。

## おわりに

「自分の心にも、時間にも、ゆとりを持って、丁寧に、よい看護をしたい。」スタッフは皆、いつもそんな気持ちを抱きながら出勤しています。始業時には、それぞれが緊張した面持ちでスタッフルームへはいます。自分の役割と業務を確認し、流れを組み立てて準備をし、業務につきます。「今日も、忙しくなりそう…。担当の患者様に十分に満足してもらえるケアを提供したいができるだろうか。」そんな思いが、いつも頭の中をよぎっています。それでも、「よし、頑張るぞ。私たち、プロだもの！」と気持ちを固めます。

56床のベッド数、患者層に対して、現在のマンパワーでは決して十分とは言えず、患者様のために、私たちがベッドサイドでやりたいことと、できることとのギャップを感じつつ、日々が過ぎていきます。そんな中でも、一人一人が、自分の個性や得意分野でのパワーを発揮して、看護の専門職として、向上心と責任感を持ち、笑顔と思いやりの心で看護を提供していくことを心がけています。

今回のこの機会に、皆の声をきかせてもらい、振り返ってみると、「私たちって、頑張っている！！」と、あらためて気づくことができたような気がします。

今後も、目標の一つに掲げているように、「職員間のコミュニケーションを円滑にし、患者様や家族様に対しても気持ちに寄り添った丁寧な対応をする」ことを念頭に置き、楽しく、働きやすい職場作りを皆で目指します。

～ケアの受け手（患者、家族）を大切に、ケアの提供者（看護職員）を大切に～



# The report of the west fourth-floor ward: opinions from staff!

Junko Shiraishi<sup>1)</sup>

**Abstract:** This ward is a general acute care ward. We mainly admit orthopaedic patients. We gathered opinions from our staff 2 years after the relocation and renovation of the ward. The air conditioning of the entire building and the exclusive lift for staff and patients were evaluated. Four-bed rooms and private rooms, the amenities and medical instruments in every room, and the shower room and bathroom in every ward were also evaluated. The staff station was made wide and open, enabling easy response to patients and visitors. The fact that the restroom and lounge in the ward are near the station was appreciated. The wide door of the ward is helpful when it comes to passing a large bed. Although there is insufficient manpower and a large gap between what we want to do and what we can do, we try to perform good nursing care, being aware of our ambitions and responsibilities, with a smile and sympathy, aiming to “be polite and provide good nursing with plenty of time to spare for one’s mind.” We hope to have an enjoyable and comfortable workplace and to politely respond to patients and their families by facilitating communication among the staff members.

**Keywords:** cooperation with other professionals and divisions; performing nursing work; enjoyable and comfortable workplace

---

<sup>1)</sup> Nursing department, Unnan City Hospital

**Correspondence:**

Junko Shiraishi, Nursing department, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN]

E-Mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501